

奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校

学校教育目標

11月号

笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘



- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

<http://www-local.edu.city.yokohama.jp/sch/es/naranooka/>

横浜の「浜」が教えてくれたこと

副校長 和内 昭子

お天気にも恵まれ、10月19・20日と4年生の野島宿泊体験学習に参加してきました。今年、野島カーリー作りだけでなく、水再生センターの見学や野島海岸の清掃活動に取り組みました。

1日目の水再生センターでは、自分たちの使った水が7時間かけて、きれいな水にして川に戻っています。洗濯の水や歯みがきやトイレで流した水が下水道を通過して、水再生センターの地下に流れてきます。初めは臭く不透明な水が時間をかけて、不純物を沈殿させ、1ミリリットルに10000匹いる微生物を使って水を浄化していることを学びました。電子顕微鏡で見る微生物の活発な動きに子どもたちは感動していました。

また、2日目の野島海岸は、900㎡くらいの小さな海岸でしたが、「昔から残っている横浜の浜はここしかない。」ということ野島青少年センターの方に教えていただきました。横浜は吉田新田を開発することで浜が埋め立てられました。唯一残っている浜がこの小さな野島海岸であることは、横浜に住んでいる人でも知っている人は少ないのではないのでしょうか。私も横浜育ちであります。江戸時代から残っている浜辺に立ち、多くの人がこの浜で魚を釣ったり、泳いだりしてきた歴史を考えると感慨深いものを感じました。子どもたちとともにこの歴史ある砂浜のごみ拾いを行いました。一番多かったごみは、プラごみです。風で飛ばされてきたビニル袋やトレイ、ペットボトルや空き缶。100円ライターや注射器まで埋もれていました。海岸の水はきれいになっているのに、海にはビニル袋がいくつも浮かんでいました。人間がつくり出した物が自然を汚していたのです。1時間近くクリーンアップ活動を行い、大きなごみ袋が5袋にもなりました。4年生は、野島で学んだことを活かしてこれからの学習を深めていきますが、環境問題を直視した経験は、きっと未来の日本や世界、地球を考えることのできる大人になってくれることでしょう。

そして、今を生きる大人のわたしたちも子どもたちにどんな未来を残していきたいのかを考えながら行動していきたいと思えます。

奈良の丘小学校のホームページが新しくなりました。

ぜひ、アクセスしてみてください。*表題アドレス参照

